

Question.

新商品オフィスホワイトニング材オパールエッセンス BOOST35%について教えてください。

質問者

(東京都 E.I.さん 82回)

Answer.

オフィスホワイトニング材、米国 ULTRADENT 社製オパールエッセンス BOOST35%が厚生労働省の認可を受けて2018年5月に発売されました。海外では既に過酸化水素が高濃度の製品が流通していますが、今回日本向けに改良し承認されました(図1)。これで厚生労働省認可のオフィスホワイトニング材としてはハイライト(松風)、ピレーネ®(ニッシン)、ティオン® オフィス(ジーシー)に続いて8年ぶり4製品目となります。

当院のホワイトニング外来では、早速臨床に取り入れていますので、実際に使用した感想も併せて他の商品と比較しながら説明します。

◆オパールエッセンス BOOST35%の特徴

オパールエッセンス BOOST35%(以下 BOOST)は、この商品の名前にもあるように過酸化水素が35%(混合前の過酸化水素濃度)含有され使用前に薬剤の入ったシリンジを連結させ混合して使用します。過酸化水素濃度はハイライトと同等であり、薬剤の入ったシリンジ同士を連結し、薬材を混合させて使用するところはティオンオフィスと同様です。

キットの中には、薬剤以外の付属品も含まれています。開口器のアイソブロックは、両側の平面を臼歯部で咬合させて使用します。小さく収まるため、長時間開口している苦さが軽減されます(図2)。

オパールダムグリーン(歯肉保護レジン)は軟組織への薬剤の漏洩を防ぐため歯肉縁に沿って塗布します。光の反射により真珠のような艶を持った明るい緑色をしています。

ジェル状で赤色である薬剤は、PMTCが終了した後に歯面に塗布します。ジェルが赤いため、歯面の塗布部位を的確に確認でき、さらに活性終了後の除去においても、薬剤は赤色の状態を保持しているので取り残しの心配がありません(図3)。実際使用した結果、薬剤自体がジェル状で水分を多く含ん



図2 アイソブロック



図3 赤色ジェルを塗布

でいるため、活性終了後もジェルの乾燥した感じがなく、キットのバキュームチップで簡単に吸引できます。除去が簡便なため、すぐ次の薬剤を歯面に塗布できるので、時間のロスがありません。これは、チェアタイムの長いオフィスホワイトニングにとって有利な点と言えます。

また、BOOSTには光触媒は含まれていません。したがって光照射をしないでも十分な効果を得ることができますが、光照射を行うと熱も発生するので、過酸化水素の分解が促進され効果的です。

◆ホワイトニングの大敵！知覚過敏症

高濃度の過酸化水素を使用するオフィスホワイトニングは、術中に知覚の亢進、術後に知覚過敏を認めることがあります。BOOSTの薬剤は20%以上の水分量を含むためエナメル質の脱水を防ぎ、知覚過敏の発生しにくいことが期待されます。もし知覚過敏が発生した場合には、同社の知覚過敏抑制剤ウルトラライズ(硝酸カリウム3%、フッ素イオン0.11%を含む)を併用することを推奨します(図4)。これは、あらかじめジェルがトレーに塗布された簡易型の既製トレータイプとホームホワイトニングでカスタムトレーを使用している場合は、カスタムトレーに注入して使用するシリンジタイプの2種類があります。いずれにしても、15分から30分程度トレーを歯列に装着し、知覚過敏を改善します。



図4 知覚過敏抑制材
ウルトラライズ



図1 オパール
エッセンス
BOOST35%
ペイシェント
キット

質問の回答者



あべ みき
安部 美紀

附属病院 総合診療科1